

## 裾野市長泉町衛生施設組合新火葬施設設計業務 公募型プロポーザル募集要項

この要項は、裾野市長泉町衛生施設組合（以下「組合」という。）が発注する新火葬施設設計業務委託（以下「設計業務」という。）の契約予定者（以下「優先交渉権者」という。）を公募型プロポーザル方式で選定することについて必要な事項を定める。

なお、本プロポーザルは、平成 29 年度補正予算の成立を前提に準備行為としておこなうものであり、予算成立した場合には、本プロポーザルにより選定した事業者と契約を締結することとする。ただし、選定は予算の成立を条件とするため、この点を留意して応募すること。

### 第 1 設計の業務の概要

#### 1 業務名

裾野市長泉町衛生施設組合新火葬施設設計業務委託

#### 2 業務内容

- (1) 新火葬施設の整備（基本的事項は(仮)裾野長泉新斎場整備基本調査業務委託報告書のとおりに）に関する基本計画、基本設計及び実施設計業務で、建築、構造、附属設備、環境整備（造成、外構、雨水調整池、開発行為の手続きを含む。）とする。なお、墓地、埋葬等に関する法律、都市計画法、建築基準法など、新火葬施設の整備に当たって必要となる関係法令等の許認可申請事務等のほか、基本計画策定段階において実施予定の意見収集等の支援を含むものとする。
- (2) 火葬炉整備事業（維持管理を含む）選定支援業務
  - ・ 公募書類（審査基準等）の作成等
  - ・ 火葬炉の比較検討及び評価支援

#### 3 履行期間

契約の締結の翌日、平成 29 年 9 月（予定）から平成 31 年 3 月 9 日までとする。

#### 4 業務規模

本業務に関する費用は、120,000 千円（消費税及び地方消費税を含む。）以内とする。

なお、この金額は、単に業務規模を示したものであり、契約に係る予定価格を示すものではない。

### 第 2 優先交渉権者の選定手続き及びスケジュール

#### 1 選定手続き

参加表明書を提出した者のうちから技術提案書の提出を求める者を一次審査により選定し、選定された者から技術提案書の提出を受け、当該提案書類等の審査結果により最優秀提案者を選定する。

当該審査は、裾野市長泉町衛生施設組合新火葬施設設計業務委託プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）が行い、優先交渉権者は、審査委員会の上申を受け、裾野市長泉町衛生施設組合管理者審査会議（以下「管理者審査会議」という。）において決定する。

## 2 スケジュール

月 日	内 容
平成 29 年 7 月 3 日 (月)	募集告知 (公告・ホームページ)
平成 29 年 7 月 11 日 (火)	「質疑書」の提出期限
平成 29 年 7 月 14 日 (金)	質疑に対する回答期日
<u>平成 29 年 7 月 31 日 (月)</u>	<u>「参加表明書」の提出期限</u> ※消印有効
平成 29 年 8 月 4 日 (金)	一次審査、審査結果の通知
平成 29 年 8 月 9 日 (水)	「質疑書」の提出期限
平成 29 年 8 月 14 日 (月)	質疑に対する回答期限
平成 29 年 8 月 30 日 (水)	「技術提案書」の提出期限
平成 29 年 9 月 5 日 (火)	二次審査 プレゼンテーション及びヒアリングの実施
平成 29 年 9 月 8 日 (金)	優先交渉権者の決定、審査結果の通知
平成 29 年 9 月 (下旬)	随意契約の締結

### 第3 応募資格要件

本プロポーザルに参加しようとする者は、次に掲げる要件をすべて満たす者でなければならない。

- (1) 地方自治法施行令 (昭和 22 年政令第 16 号) 第 1 6 7 条の 4 に規定する者でないこと。
- (2) 建築士法 (昭和 25 年法律第 202 号) 第 23 条の規定による一級建築士事務所の登録を受けていること。
- (3) 裾野市又は長泉町における建築関係コンサルタント業務に係る入札参加資格認定業者であること。
- (4) 過去約 15 年間 (平成 14 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで) に延床面積 2,000 m<sup>2</sup> 以上の火葬場及び斎場の基本設計及び実施設計業務を完了した実績があること。
- (5) 裾野市契約規則及び長泉町契約規則に反していない者であること。
- (6) 設計業務に関し、国及び地方公共団体から指名停止処分を受けている期間中でないこと。
- (7) 設計共同体として参加する場合には、次に掲げる要件をすべて満たしているものであること。
  - ① 構成員の数が 2 を超えないこと。
  - ② 構成員のすべてが(1)、(3)及び(4)の要件を満たしていること。
  - ③ 構成員のうち 1 以上の者が(2)の要件を満たしていること。
  - ④ 設計共同体協定書 (様式は、国土交通省のホームページに掲載されている設計共同体協定書に準じて任意に作成するものとする。) を参加表明書の提出時に添付すること。  
なお、設計共同体協定書において、次の事項を明らかにすること。  
ア 構成員の分担業務 (一の分担業務を構成員が共同して実施することは認めない)  
イ 構成員において決定された代表者

## 第4 参加表明書の提出

### 1 提出書類等

#### (1) 提出書類

書類名	様式番号等
① 参加表明書鑑	様式1
② 会社概要	様式2
③ 専門分野・資格別技術者数一覧表	様式3
④ 同種業務実績一覧表	様式4
⑤ 代表的な同種業務実績	様式5
⑥ 取組方針（設計コンセプト）	任意様式 ただしA4判縦1枚（片面）とする
⑦ 業務実施体制（担当チームの構成）	様式6
⑧ 業務実施体制（担当チーム員の実績等）	様式7
上記書類（様式1から様式7）のデータを収めたCD-R データ：様式はWord形式、図面はPDF形式	

#### (2) 設計共同体の場合

設計共同体の場合は、「②会社概要」は構成員別のものを「③専門分野・資格別技術者数一覧表」及び「④同種業務実績一覧表」は合計したものを提出すること。

なお、「⑦業務実施体制」の所属には、所属会社も記載すること。

#### (3) 取組み方針について

提出書類の「⑥取組方針（設計コンセプト）」は、本設計業務に対する設計コンセプトを文章（文章を補足するためのイラスト、イメージ図は使用可）で簡潔に記述すること。

#### (4) 提出先等

##### ① 提出先：〒410-1102

静岡県裾野市深良 963 番地（中島苑内）

裾野市長泉町衛生施設組合 宛

E-mail : susono\_nagaizumi@alpha.ocn.ne.jp

##### ② 提出方法：郵送（簡易書留）のみ

##### ③ 提出部数：正本 様式1について社印及び代表者印のあるもの…1部

副本 様式1について正本をコピーしたもの…15部

CD-R…1枚

※添付書類は、正本だけに添付すること。

※片面印刷、A4判サイズで製本（左側2箇所ホッチキス止め）、なおA3判サイズはA4サイズに折り込むこと、カラー印刷可

##### ④ 問合せ先：裾野市環境市民部生活環境課内 Tel：055-995-1816

長泉町都市環境部門くらし環境課内 Tel：055-989-5514

#### (5) 提出期限：平成29年7月31日（月） 消印有効

## 2 質疑応答

参加表明書の提出等に関する質疑応答を次のとおり行う。

### (1) 質疑

- ① 提出方法：質疑書（様式9）を裾野市長泉町衛生施設組合宛にE-mail送信
- ② 提出期限：平成29年7月11日（火）正午 必着

### (2) 回答

- ① 回答方法：回答書を質疑書の発信アドレスに送信
- ② 回答期日：平成29年7月14日（金）

## 第5 一次審査及び結果通知

組合は、応募者から提出された参加表明書を評価基準（9頁「評価要領」のとおり）に基づき審査し、応募者の中から技術提案書の提出を求める者を5社程度選定する。

なお、選定結果は、参加表明書を提出した全社に文書で通知する。

## 第6 技術提案書の提出

### 1 提出書類等

#### (1) 提出書類

書類名	様式番号等
① 技術提案書鑑	様式8
② 技術提案（課題に対する基本的な考え方）	任意様式。ただし、課題をA3判縦3枚（片面）以内とする。
上記書類（様式8及び技術提案（任意様式）のデータを収めたCD-R （データ：様式はWord形式、図面はPDF形式）	

#### (2) 技術提案について

提出書類の「②技術提案（課題に対する基本的な考え方）」は、次の課題に対する基本的な考え方を課題ごとに文章（文章を補足するためのイラスト、イメージ図は使用可）で簡潔に記述すること。

- ① 自然災害に対する安全性に配慮した施設計画等
- ② 人の流れがスムーズで交錯しない動線など優れた利便性ととも、誰もが安心して快適に過ごせる配置計画等
- ③ 火葬施設の尊厳性を確保し、周辺景観等と調和した意匠計画等
- ④ 全体コスト計画（設計費、施工監理費、建築・設備・外構等の工事費、維持管理費など全てを含む）と省エネルギー計画に対する配慮事項

#### (3) 提出先等

- ① 提出先：裾野市長泉町衛生施設組合
- ② 提出方法：郵送（簡易書留）のみ

- ③ 提出部数：正本 様式 8 について社印及び代表者印のあるもの…1 部  
副本 様式 8 について正本をコピーしたもの…15 部  
CD-R…1 枚

※片面印刷、技術提案書の A 3 判は折らずに提出（左側 2 箇所ホッチキス止め）、  
カラー印刷可

(3) 提出期限：平成 29 年 8 月 30 日（水）必着

## 2 質疑応答

技術提案書の提出等に関する質疑応答を次のとおり行う。

### (1) 質疑

- ① 提出方法：質疑書（様式 9）を裾野市長泉町衛生施設組合宛に E-mail 送信
  - ② 提出期限：平成 29 年 8 月 9 日（水）正午 必着
- ※必ず受信確認を行うこと

### (2) 回答

- ① 回答方法：全事業者に対し回答書を質疑書の発信アドレスに送信
- ② 回答期日：平成 29 年 8 月 14 日（月）

## 3 プレゼンテーション及びヒアリング

技術提案内容のプレゼンテーション及びヒアリングを次のとおり行う。

- ① 日 時：平成 29 年 9 月 5 日（火）
- ② 場 所：裾野市長泉町衛生施設組合（中島苑内）
- ③ その他：詳細は後日通知する。

## 第 7 優先交渉権者の決定及び随意契約の締結交渉

### 1 優先交渉権者の決定等

組合は、一次審査で選定された者から提出された技術提案書を評価基準に基づき審査し、提案者の中から最優秀提案者を選定し、優先交渉権者は、審査委員会の上申を受け、管理者審査会議において決定する。

なお、選定結果は、技術提案書を提出した全社に文書で通知する。

### 2 随意契約の締結交渉

組合は、管理者審査会議において決定された最優秀提案者と設計業務の随意契約締結のための交渉（契約仕様書の作成、契約金額の決定等）を行う。

なお、交渉が不調（例えば、契約仕様書に基づく見積金額が予定価格に達しない場合など）の場合には、審査順位の上位者から順に、随意契約締結の交渉を行うものとする。

## 第 8 その他

### (1) 提出書類の取扱い

提出された参加表明書及び技術提案書は返却しない。

また、技術提案書に記載された情報は、地元説明等必要な限りにおいて組合が無償で使用

できるものとする。

(2) 選定結果の公表

選定結果は、地元説明、裾野市及び長泉町ホームページ等で公表する場合がある。

(3) 費用負担

参加表明書及び技術提案書の作成等、本プロポーザルに関し必要な費用は、応募者及び提案者の負担とする。

(4) 業務実施体制の変更

提案された業務実施体制（担当チーム員）は、変更できないものとする。

ただし、変更することに病気、退職等の特別な理由があり、入れ替わる技術者が提案された技術者と同等以上の実務経験等があると認められる場合に限り、組合の承認を得て変更できるものとする。

(5) 手続きにおいて使用する言語、通貨及び単位は、日本語、日本円、日本の標準後及び計量法（平成4年法律第51号）に定める単位に限る。

(6) 審査委員会の委員が関係する設計事務所及び研究室に所属する者は応募できない。

(7) 提案書作成のために組合より受領した資料は、組合の了解なく公表、使用してはならない。

(8) プロポーザル参加者が、審査委員会の委員に対し、直接または間接を問わず連絡を取った場合は、その参加者を失格とする。

(9) 火葬炉メーカーは、別途、組合より選定を行うものとする。

## 施設概要

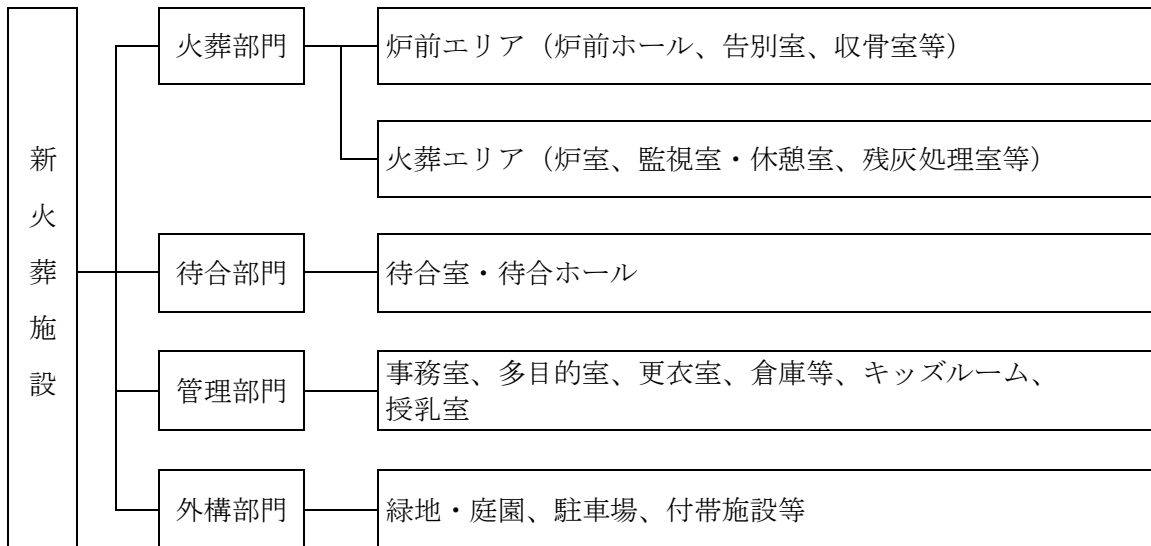
1 位置：静岡県裾野市今里 343-1 他

2 区域：約 17,200 m<sup>2</sup>（都市計画決定図書参照）

### 3 施設整備の基本方針

- ① 最後のお別れの場にふさわしい施設とする
- ② 故人を偲び、悲しみを癒し、慈しみを感じる施設とする
- ③ 人と環境にやさしい施設、だれからも愛されると共に、自然と共生する施設づくりを進めます。
- ④ 維持・管理コストのかからない施設とする

### 4 施設構成（案）



※ 式場部門は設けないこととするが、小規模で簡素化した葬儀に対応した「多目的室」を用意し、日中の告別式に類する儀式のみ受け入れることとする。

※新火葬施設延べ床面積：約 2,800 m<sup>2</sup>程度

※既存裾野市斎場を運営しながらの建替えとなり、新しい火葬施設の整備が完了し機能が移管された時点をもって、既存の裾野市斎場並びに長泉町火葬場をそれぞれの市町の予算において解体及び撤去をおこなう。

### 5 計画火葬炉数

●計画火葬炉数 6 炉（5 炉＋予備炉 1 炉）

※将来死亡者数と予測火葬件数を考慮した結果、平成 39 年度までは必要火葬炉数が 4 炉で足りるため、供用開始時には暫定 4 炉使用とする。

## 6 敷地条件

- 市街化調整区域、計画地面積約 17,200 m<sup>2</sup>うち緑地面積 6% (土地利用)
- 新火葬施設への入場は、裾野市道 1 - 15 号線 (幅員 8 m) からを想定する。
- 既存裾野市斎場は、工事期間中も運用するため、工事区画と運営区画に大別した計画とする。

## 7 設備条件

- 電気…新規引込工事。既存引込設備を解体撤去。
- 給水…既存水道引込・量水器を利用。分岐配管。
- ガス…都市ガス使用については、ガス事業者との協議。
- 通信…既存引込架線を再利用し、新規架線工事。
- 雨水排水…敷地内処理が基本。雨水調整池で貯水。
- 汚水・雑排水…浄化槽設置。公道側溝に放流。
- 防災…防火水槽設置。

## 8 想定ゾーン計画

新火葬施設の敷地は、大きく以下の 5 つの構成とし、新火葬施設のゾーニングを計画する。

- ① 建物
- ② 駐車場 (構内道路、バックヤードを含む)
- ③ 付帯施設 (庭園等)
- ④ 緑地 (緩衝緑地、緑地帯等)
- ⑤ 付帯施設 (調整池等)

## 9 概算事業費

- 概算事業費 (暫定 4 炉) : 1,420,000 千円 (本設計業務費含む)

## 10 供用開始時期

- 平成 33 年度供用開始

## 11 その他参考資料

- (仮)裾野長泉新斎場整備基本調査業務委託報告書 平成 28 年 3 月
- 裾野都市計画火葬場の決定 (裾野長泉火葬施設) (案)
  - ・総括図
  - ・計画図
  - ・用地実測図 (参考図)
  - ・計画平面図 (参考図)
- 平成 28 年度(仮)裾野長泉新斎場整備に係る測量業務委託成果
  - ・平面図
- 平成 28 年度(仮)裾野長泉新斎場整備に係る地質調査業務委託成果
  - ・ボーリング柱状図
  - ・ボーリング調査位置平面図



## 評 価 要 領

### 第 1 評価区分・評価項目及び配点

#### 1 一次審査

評価区分・評価項目		配 点	評 価	評価点
1 事務所の能力		<u>20 点</u>	—	
① 資格別技術者数	換算技術者数	3 点		
	② 同種業務実績	ア実績数	3 点	
		イ代表的な実績内容	4 点	*
③ 取組み方針	設計コンセプト	10 点	*	
2 担当チームの能力		<u>20 点</u>	—	
① 総括責任者 (管理技術者)	ア資格・経験	1 点		
	イ業務実績	4 点		
② 主任技術者 (意匠)	ア資格・経験	1 点		
	イ業務実績	2 点		
③ 主任技術者 (構造)	ア資格・経験	1 点		
	イ業務実績	2 点		
④ 主任技術者 (積算)	ア資格・経験	1 点		
	イ業務実績	2 点		
⑤ 主任技術者 (電気設備)	ア資格・経験	1 点		
	イ業務実績	2 点		
⑥ 主任技術者 (機械設備)	ア資格・経験	1 点		
	イ業務実績	2 点		

\* 各委員の主観的評価の平均値

#### 2 二次審査

評価区分・評価項目		配 点	評 価	評価点
3 課題に対する提案力		<u>60 点</u>	—	
①	自然災害に対する安全性に配慮した施設計画等	15 点	*	
②	人の流れがスムーズで交錯しない動線など優れた利便性ととも、誰もが安心して快適に過ごせる配置計画等	15 点	*	
③	火葬施設の尊厳性を確保し、周辺景観等と調和した意匠計画等	15 点	*	
④	全体コスト計画 (設計費、施工監理費、建築・設備・外構等の工事費、維持管理費など全てを含む) と省エネルギー計画に対する配慮事項	15 点	*	
合計点		<u>100 点</u>	—	

\* 各委員の主観的評価の平均値

### 3 最優秀提案者の選定

最優秀提案者は、合計点での最高得点者とする。

## 第2 評価方法

### 1 事務所の能力

#### ① 資格別技術者数（様式3）

換算技術者数	評価
100人以上	1.0
50人以上100人未満	0.7
50人未満	0.4

※換算技術者数は、専門分野・資格別技術者数一覧表（様式3）の資格別技術者数に下表の換算係数を乗じて得た人数とする。

資格	換算係数
構造設計一級建築士、設備設計一級建築士	1.2
一級建築士、建築設備士、技術士	1.0
二級建築士、建築積算士、 一級電気（管）工事施工管理技士	0.4
その他	0.2

#### ② 同種業務実績

##### ア 実績数（様式4）

換算実績数	評価
6件以上	1.0
3件以上6件未満	0.7
3件未満	0.4

##### イ 代表的な実績内容（様式5）

アピール内容等	評価	評価方法
優れている	1.0	各委員がそれぞれ主観的評価を行い当該評価の平均値とする。なお、少数点第3位は四捨五入する。
やや優れている	0.75	
普通である	0.5	
やや劣っている	0.25	
劣っている	0	

#### ③ 取組み方針（任意様式）

設計コンセプト	評価	評価方法
優れている	1.0	各委員がそれぞれ主観的評価を行い当該評価の平均値
やや優れている	0.75	

普通である	0.5	とする。なお、少数点第3位は四捨五入する。
やや劣っている	0.25	
劣っている	0	

## 2 担当チームの能力（様式6・様式7）

### ① 総括責任者（管理技術者）

#### ア 資格・経験

一級建築士の実務経験年数	評価
15年以上	1.0
7年以上15年未満	0.7
7年未満	0.4

※実務経験年数は、様式8の実務経験年数に記載された年数である。

#### イ 業務実績

業務実績		評価
総括責任者（管理技術者）として実績が二つある		
	二つの実績ともに、応募資格要件を満たしている施設	1.0
	一つの実績が、応募資格要件を満たしている施設	0.9
	二つの実績ともに、応募資格をみたしていない施設	0.8
総括責任者（管理技術者）としての実績が一つある		
	一つの実績が、応募資格要件を満たしている施設	0.8
	一つの実績が、応募資格を満たしていない施設	0.6
総括責任者（管理技術者）としての実績がない		
	主任技術者として実績が二つある。	0.4
	主任技術者として実績が一つある。	0.3
	主任技術者として実績がない。	0.2
特記事項（受賞歴など） 受賞歴及びその他特筆すべき事項がある場合は、当該受賞歴等の一つに対し、0.2を上記評価に加点する。ただし、評価の上限は1.0とする。		

※応募資格要件を満たしている施設とは、第3の応募資格要件(2)に掲げた延床面積2,000㎡以上火葬場又は斎場である。

### ②～⑥主任技術者（意匠～機械設備）

#### ア 資格・経験

一級建築士の実務経験年数	評価
10年以上	1.0
5年以上10年未満	0.7
5年未満	0.4

※実務経験年数は、様式8の実務経験年数に記載された年数である。

イ 業務実績

業務実績の評価は、①総括責任者イ業務実績の評価表を準用し、「総括責任者（管理技術者）」は「主任技術者」に、「主任技術者」は「担当技術者」に読み替える。

3 課題に対する提案力（任意様式）

①から④までを次のア～ウを考慮し総合的に評価する。

ア 的確性 敷地等の制約などの与条件等と整合がとれているかなど

イ 独創性 当地にあった独創的な提案となっているかなど

ウ 実現性 提案が論理的で、説得力があるかなど

課題に対する提案力	評価	評価方法
優れている	1.0	各委員がそれぞれ主観的評価を行い当該評価の平均値とする。なお、少数点第3位は四捨五入する。
やや優れている	0.75	
普通である	0.5	
やや劣っている	0.25	
劣っている	0	